

私の夏休みの思い出は、部活と体育祭の準備です。

部活では、私達が毎年出ている「NHKコンクール」という大会に出るために、部員全員が一致団結して日々の練習に取り組むことができたからです。また、昨年は約九年ぶりに予選突破ができて、「今年も続けて突破しよう」という思いが全員にあり、一人一人が表情から意識して歌うことができました。

この大会の結果は、予選敗退で終わってしまいました。この結果をきいてくやしかったです。でも、私達が今までやってきたことを大会当日のステージですべて出さきって歌うことができました。だから夏休みの思い出の一つ目は部活です。

二つ目の体育祭の準備では、応援優賞という賞をもらうために、応援部の三人と、応援サポーターの人達で、団歌、応援歌、ジャブなどの振り、変え歌などを考えていました。

しかし、私達の団は夏休み中、集まらなければいけない日にあまり人が集まらなかったため、中々進みませんでした。この状況を知った先生は、登校日の日、団活動のあまった時間を中止し、勉強の時間に変えました。理由は、集まらないといけない日にクラスの半分も来ていなかったからです。

その後、集まらないといけない時は、クラスの半数以上の人が来て、冊子の内容を確認する人がいました。このような姿が増えたのは、団長などに言われたから来たのではなく、全員が賞を取りたいと心から思えたからです。こんな仲間の姿があったから私達の団は、見事応援優賞をもらうことができました。

だから、二つ目の思い出は体育祭の準備です。私は、この夏休みを通して仲間と関わることの楽しさを知ることができました。